

令和6年9月

各 位

一般社団法人 農業開発研修センター
会 長 理 事 増 田 佳 昭
[公 印 省 略]

J Aの組織基盤強化に関する特別研究会の開催について

拝 啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、標記の研究会を別紙要領のとおり、開催します。当センターでは、地域農業の振興・活性化とJ Aの改革に貢献することを目的として、各種の研究会（研修会）を毎年開催しており、全国各地から多数の方々にご参集いただいております。

今年度の標記特別研究会は、組合員とのつながり、地域とのつながり強化に焦点をあて、先進的な取り組みを踏まえ、J Aの組織基盤強化のあり方について徹底討論することをねらいに企画・開催します。

本研究会では、参加者間の交流を深めるために、今年度から対面方式による開催とし、併せて、参加者相互や講師との交流の場である懇談会も開催を予定しています。

つきましては、貴団体・機関の関係者のご参加におきまして、格別のご配慮を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。特にJ Aにおける総務企画担当役職員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

なお、ご希望があれば本要領とは別にメールでもご案内いたしますので、申し添えます。

敬 具

J Aの組織基盤強化に関する特別研究会開催要領

主催：一般社団法人農業開発研修センター

《趣 旨》

J Aを取り巻く情勢は、止まらない組合員の減少や高齢化により、J Aの根幹をなす組織基盤の弱体化が危惧され、そのことは事業基盤や経営基盤の弱体化にもつながることもあるため、J Aの存立・発展の大きな懸念材料となっています。

今秋に開催が予定されている第30回J A全国大会組織協議案では、「活動と事業の好循環」として組織基盤・経営基盤の強化を提示し、組織基盤強化として組合員との関係強化・仲間づくりを掲げています。

そこで今回の特別研究会では、組合員とのつながり、地域とのつながり強化に焦点をあて、先進的な取り組みを踏まえ、J Aの組織基盤強化のあり方について徹底討論します。

期 間：令和6年11月14日（木）～15日（金）

会 場：京都J Aビル 201・202会議室（アクセス参照）

対 象： ①J A、都道府県農協中央会・連合会、全国連の組織企画担当役職員
②都道府県などの地方自治体のJ A指導担当部署の職員
③その他、関連する農業団体・行政機関などの役職員

定 員：60名程度

昼 食：

15日（金）に弁当（1,188円（税込））を準備します。ご希望の方は、参加申込書からお申し込みください。

参加費：（税込・一人当たり）

会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	40,700円<36,300円>
非 会 員 <>内は、2名以上をまとめて申し込んだ場合の金額です。	51,700円<46,200円>
会友（個人会員）に新規加入の場合 （令和6・7年度の会友会費7,500円を含む）	43,200円

注1：会員は、会員所属者および令和5年度以前からの会友（個人会員）の金額です。

注2：令和5年度以前からの会友（個人会員）の部分受講は、別途割引があります。

※年間予約コースについては別紙をご参照ください。詳しくはメールまたは電話でお問い合わせください。

懇談会：

参加者と講師の交流の場とした懇談会を予定しています。ご希望を申込書へご記入ください。

＜開催予定日時＞

と き：11月14日（木） 17：30～（90分程度）

懇談会費：6,500円（消費税込）

申込方法：

①5ページの参加申込書をファックスで送信してください。

②受付完了通知をメールで送信しますので、参加費（昼食代・懇談会費）を送金してください。
なお、振込手数料はご負担ください。

＜振込先＞

京都府信用農業協同組合連合会（京都信連）

本 店 当座 口座番号：6373291

京都銀行 京都駅前支店 普通 口座番号：3164073

口座名義：一般社団法人農業開発研修センター
（シャ） ノウギョウカイハツケンシユウセンター

申込締切日：11月7日（木）17：00

当開催要領は、ホームページ（<https://agridtc.or.jp/nittei.html>）に掲載しています。

キャンセルポリシー：

お申し込み後のキャンセルはキャンセル料が発生しますのでご注意ください。

・11月7日（木）17：00まで …… 10,000円

・11月7日（木）17：00以降 …… 全額

問い合わせ（申し込み）先：

一般社団法人農業開発研修センター 研究会受付係

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町1（京都JAビル）

TEL：075-748-0703

FAX：075-748-0855

E-mail：seminar@agridtc.or.jp

URL：https://agridtc.or.jp

アクセス：JR京都駅（八条口）より徒歩5分



（QRコードもご参照ください）



日 程

《第1日目》11月14日（木）

13:30～13:50 開会あいさつ・オリエンテーション

一般社団法人農業開発研修センター 常務理事 瀬津 孝

(京都大学農学部非常勤講師)

13:50～15:10 報告Ⅰ 地域社会の変化とJA全国大会決議の意義とつながりづくり

(うち質疑応答約10分)

—JAの組織力強化に向けて—

一般社団法人 日本協同組合連携機構

常務理事 小林 元 氏

- JAを取り巻く社会と環境の変化—高齢化・人口減少がもたらす大きな課題—
- 先進事例JAから学ぶ組織基盤強化の実践内容と課題
- JAの組織基盤強化実現に向けた組合員・役職員の人材育成のあり方

15:10～15:30 休 憩

15:30～16:40 報告Ⅱ わがJAの組合員とのつながり強化に向けた取り組み

(うち質疑応答約10分)

滋賀県 グリーン近江農業協同組合

常務理事 徳 永 有 治 氏

- 平成6年に誕生した2市（一部を除く）2町を管内とするJA。組合員総数23,642名（うち、正組合員8,056名）、貯金3,164億円、貸出金525億円、長期共済保有高5,867億円、販売品販売高111億円、購買品供給高50億円（令和5年度実績）
- 「第10次中期経営計画」基本方針である「地域農業の応援団を入口とした組合員加入促進運動の展開」による組織基盤強化の実践
- わがJAの組織力強化の実現に向けた実践課題とトップ層が果たす役割

17:30～19:00 懇談会

《第2日目》11月15日（金）

シンポジウム「組合員・地域に寄りそうJAの組織力強化のあり方

—支店運営と基礎組織を中心に—

9:30～ 9:50 座長解題

神戸大学名誉教授 高 田 理 氏

<座長解題>

- シンポジウムで議論したい論点と参加者に期待したいこと
- 問題提起と2つの実践報告の関連と意味

9:50～10:50 問題提起 JAの組織基盤強化における戦略的対応を考える

滋賀県立大学名誉教授 増田 佳昭氏

- 10年後を見据えたJAの危機と対応方向
- 基礎組織（農家組合）の歴史と基本課題
- 支店活動活性化と組合員とのつながり強化策、ファンづくり対策

10:50～11:00 休憩

11:00～12:00 実践報告① 生産組合など組合員組織の活性化による組織力強化の取り組み

神奈川県 秦野市農業協同組合 常務理事 三瓶 壮文氏

- 昭和38年に誕生した秦野市を区域とするJA。組合員総数14,179名（うち、正組合員2,666名）、貯金2,369億円、貸出金416億円、長期共済保有高3,925億円、販売品販売高18億円、購買品供給高21億円（令和5年度実績）
- JAの基盤組織の1つで正組合員と准組合員の交流の場にもなっている生産組合の存在意義と活動内容の特徴
- 生きがいと仲間づくりを目的とした高齢者福祉活動「JA健康寿命100歳プロジェクト」の展開等、多岐にわたる組織活性化の取り組み

12:00～13:00 昼食

13:00～14:00 実践報告② 支店運営委員会の活性化による地域に根ざした組織力強化の取り組み

三重県 みえなか農業協同組合 専務理事 岡田 勇樹氏

- 令和3年に誕生した2市（一部除く）を管内とするJA。組合員総数32,206名（うち、正組合員15,216名）、貯金4,463億円、貸出金901億円、長期共済保有高8,135億円、販売品販売高53億円、購買品供給高47億円（令和5年度実績）
- 組合員や地域住民、特に女性、准組合員を構成メンバーとし、地域・支店づくりに取り組むことを目的とした支店運営委員会を設置
- 組合員・地域住民・役職員による「地域ふれあい活動」や、組合員・地域住民へ情報提供する「支店・事業所だより」の発行等、支店を拠点とし、組合員・地域との関係強化を目的とした諸活動の実践

14:00～14:20 休憩

14:20～15:40 討論

(座長) 前掲

高田 理氏

(コメンテーター) 前掲

増田 佳昭氏

兵庫県 兵庫六甲農業協同組合 企画管理部

ゼネラルマネージャー 大西 弘高氏

15:40～15:50 座長まとめ

15:50～16:00 閉会あいさつ 一般社団法人農業開発研修センター 会長理事 増田 佳昭

注) 講師の都合等により、報告時間等に若干の変更がある場合があります。予めご了承ください。

農業開発研修センター 行き
〈FAX : 075-748-0855〉

J A の組織基盤強化に関する特別研究会参加申込書

〒 TEL FAX

ご住所 :

貴機関名 :

ご記入者 (部課名) ^{ふりがな} (お名前)

部課・役職名	参加者氏名 ^{ふりがな}	会友同時加入 (希望者は○)	昼食(弁当) (希望者は○)	懇談会 (希望者は○)
〈記入例〉 総務・企画課長	けんしゅう たろう 研修太郎	○	○	○

※受付完了通知と請求書をメールで送りますのでメールアドレスは必ずご記入いただきますようお願いいたします。

@

〈送金状況〉

- 振込 (予定) 先 …… イ. 京都信連 ロ. 京都銀行 (該当する記号に○印をつけてください)
- 振込 (予定) 日 …… 月 日

注1) 必要事項をご記入のうえ、ファックスで送信してください。
《申し込み順に受け付けます。定員に達した時点で締め切り、受付できなかった方には連絡します。》
2) ご記入いただいた情報は、研究会の受付事務、参加者に配布する名簿作成、以後の研究会の案内のために使用し、それ以外の目的で使用することはありません。

農業開発研修センター研究会年間予約 新コースのご案内

(一社)農業開発研修センターが令和6年度より実施した研究会年間予約コースに、令和7年度より新たに2つのコースを設定しました。各コースの特徴は、年間7回すべてのコースと、信用事業・共済事業を取り上げた金融・共済事業に特化したコース、そして営農事業に特化したコースとなっています。各部門の常勤役員、部課長が、連合会の事業研修にとどまらない幅広い視点から各事業を学ぶ機会として有益なものと考えていますので、是非ともご活用ください

I 年間7回のフルコース（2名コース38万円、1名コース25万円）

当センターの年間7回の研究会に1名、ないし2名参加のコースです。JAにかかわる諸問題を幅広く学ぶことができます。出席者の交替も自由なので、とりまとめ部署で、関係役職員の受講を計画的に実施することができます。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JA金融問題研究会（1月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（2月開催）

II 金融・共済コース（1名コース15.4万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、金融、共済の各研究会、それに特別研究会を加えた4回のコースです。金融担当常勤役員、金融関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- JA共済総合研究会（10月開催）
- 特別研究会（11月開催）
- JA金融問題研究会（1月開催）

III 営農経済コース（1名コース14.3万円）

JAの当面する課題について包括的に学ぶ農協問題総合研究会と、地域農業振興、農産物流通、営農事業改革の4回のコースです。営農経済担当常勤役員、営農関係部課長、幹部候補職員などの受講を想定しています。

- 農協問題総合研究会（7月開催）
- 地域農業振興に関する研究会（8月開催）
- 農産物流通研究会（9月開催）
- JAの営農事業改革に関する研究会（2月開催）

令和7年度の研究会開催スケジュールは、令和7年1月以降に決定します。
詳細は裏面に掲載しております連絡先までお問い合わせください。

『参考』

令和6年度農業開発研修センター研究会開催予定一覧

7月

農協問題総合研究会(通算第53回)

【時期・期間】7/17(水)~19(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(組合長・理事長、専務など)、企画担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A関係者の意識改革と資質の向上を狙いとするとともに、今後のJ A運動の展開方向と展開条件を総合的に解明するため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

8月

地域農業振興に関する研究会(通算第48回)

【時期・期間】8/8(木)~9(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:29,700円 非会員:44,000円

地域農業振興計画立案・推進関係者の資質の向上を狙いとするとともに、地域農業振興・活性化の課題と対応方向を解明するため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

9月

農産物流通研究会(通算第55回)

【時期・期間】9/12(木)~13(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

農産物流通に関わる関係者の資質向上と課題解決力の強化に資するため、先進産地や流通業界の専門家等からの多彩な報告とシンポジウムを実施する。

10月

J A 共済総合研究会(通算第31回)

【時期・期間】10/23(水)~25(金) 3日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(共済担当役員など)、共済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:59,400円 非会員:89,100円

J A運動とJ A経営の双方の視点からJ A共済の今日的課題を解明するとともに、今後の事業戦略確立の方向性を探るため、先進J Aや専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

11月

J Aの組織基盤強化に関する特別研究会

【時期・期間】11/14(木)~15(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層、幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

当年度の時宜に適った企画テーマを設定し、そのテーマに特化した企画内容に力点を置き、実践報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

1月

J A 金融問題研究会(通算第43回)

【時期・期間】1/16(木)~17(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(信用担当役員など)、信用担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

J A金融関係者の資質の向上を狙いとするとともにJ A金融をめぐる構造的諸問題を解明するため、事例報告や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

2月

J Aの営農事業改革に関する研究会(通算第3回)

【時期・期間】2/6(木)~7(金) 2日間 【開催地】京都(対面開催)
【推奨する参加者】トップ層(営農担当役員など)、営農経済担当幹部職員(JA、連合会、中央会)
【通常参加費】会員・会友:40,700円 非会員:51,700円

地域農業振興・活性化の課題(地域農業振興計画の策定・実践を含む)の解明とJ Aの営農経済事業の改革方向を探るため、先進事例や専門研究者等からの報告とシンポジウムを実施する。

【連絡先】〒601-8585

京都市南区東九条西山王町1 京都J Aビル内

一般社団法人農業開発研修センター

TEL : 075-748-0703 FAX : 075-748-0855

Mail : info@agridtc.or.jp

URL : https://agridtc.or.jp/